



日本共産党台東区議団

あき ま ひろし
秋間 洋

ものづくりの技術の活用と継承について

問 浅草の靴づくりを支える職人は70歳代が主力であり、このままでは技術が継承されず生産地としての機能がなくなってしまう。技術を若者に継承しようとするメーカーに対して、区が応援する新たな具体策を講じてはどうか。**答** 浅草ものづくり工房の運営や人づくり支援助成に加え、ものづくりのベテランと若手の交流・連携促進の場として、モノステージを定期的に開催している。新たな具体策は、現在策定中の産業振興プランの中で検討を行っている。**問** 浅草で作られた靴の質の高さと素晴らしさをアピールするため、商店街の空き店舗等を使い、靴修理等の店を支援してはどうか。**答** 製品の理解や親しみを高めるための店舗改修費の一部を助成するアトリエ化支援事業等を行っている。これらの事業を活用して、本区で作られる靴の質の高さを発信できるよう支援していく。

放射線から区民と子どもを守る対策について

問 ①放射線に対する区の対応は不十分である。このような対応は、台東区の放射線量が区民の健康に影響のない水準だと判断しているからではないか。②測定箇所を大幅に増やし、測定結果を全面的に公開すべきではないか。③除染ルールを決め、高い数値が出たスポットはすぐに除染を行うべきではないか。④給食食材の放射線測定を学校等でできるよう測定器を設置すべきではないか。**答** ①国や都が発表する数値等を参考に、専門家の意見に基づき判断している。②毎月定期的に測定する箇所を学校等の教育施設を含む21カ所としているが、状況に応じて緊急測定を実施している。結果は、ホームページ等で公開している。③国の基準を踏まえつつも、これまでも排水口等局所的に周辺より放射線量が高い場所について、専門家のアドバイスに基づき低減のための措置を行ってきた。今後も、必要な対策に取り組んでいく。④放射性物質を正確に測定するためには、検査体制の整備等が必要となるため、現時点では全ての学校等への放射性物質測定器の配備は考えていない。しかし、より安心・安全への対策が必要であるため、現在、給食食材の検査の実施に向けて準備を進めている。



無所属クラブ

とみ なが りゅう じ
富永 龍司

商店街振興事業について

問 商店街では、消費の低迷や後継者不足等により、空き店舗が増加し、商店街の活力を失わせる原因となっている。区が実施している空き店舗対策の実績と効果について、所見を伺う。**答** 佐竹商店街が空き店舗を借り上げ、スーパーマーケットを誘致した際、改修費や家賃の支援等を行ってきた。そのスーパーマーケットは、現在も営業活動を行っている。また、鳥越本通り商盛会が空き店舗を借り上げ、事業者を誘致し、アトリエ店舗を開業した事業に対しても同様の支援を行っている。さらに、商店街が実施したイベントを区が支援し、多くの人出が見られたことにより、商店街の空き店舗に新たな事業者が出店するという事例もあった。商店街の活力向上に向けて、新たに（仮称）商店街空き店舗活用支援事業を実施したいと考えている。**問** 商店街が実施するイベント事業等に対する区の補助金について、事業実施から補助金交付までの期間が長く、一時的に立て替えて負担することが商店街にとって大変な重荷となっている。補助金交付は、柔軟に対応す

べきではないか。**答** 商店街振興事業における補助金の交付については、規則及び要綱に基づき、区に対する申請、事業着手、実績報告、交付といった一連の流れで行っている。しかし、事業の円滑な遂行のために必要があると認められる経費については、契約書等を確認した後、補助金を概算で交付する場合もある。今後も各商店街の実情や事業内容等を見極め、適正に補助金を執行していく。

J R浅草橋駅のバリアフリー化について

問 ①J R浅草橋駅のエレベーター設置については、これまで、駅の構造上困難であると報告されてきた。バリアフリー化に向けた区及びJ Rの事業計画、事業目標等の状況を伺う。②J R浅草橋駅構内のトイレの多機能化や券売機の車いす対応への取り組み状況を伺う。**答** ①現在、台東区バリアフリー基本構想の改定作業を進めており、鉄道事業者等がバリアフリー化に向けて今後取り組むべき各事業をとりまとめている。この中で、J R浅草橋駅のエレベーター設置については、J Rとの協議を経て、これまで一括して長期的課題としていたものから、課題を段階的に設定し直し、計画的な進捗管理を行えるよう変更を行っていく。引き続き、早期実現に向けて、積極的に要請し、協議を進めていく。②改定後の台東区バリアフリー基本構想において、エレベーター設置と合わせて整備する事業として位置づけていく。



台東区議会みんなの党

すず き いち ろう
鈴木 一郎

台東区の喫煙対策について

問 区民の健康を守るため、また、医療費を抑制するためにも、たばこ対策の推進は大変重要と考える。区の取り組みと今後の姿勢について伺う。

答 公共の場での受動喫煙による健康被害を防止することは、重要であると認識している。区では、喫煙による健康への影響に関する正しい知識や、受動喫煙防止の重要性について、普及啓発を進めるとともに、禁煙を希望する方への支援を実施している。本年6月には、昨年度に引き続き、世界禁煙デーに合わせて禁煙支援のための講演会を実施した。また、がん検診等の場を利用して、個別に禁煙を希望する方への呼びかけや禁煙外来への紹介などを実施してきた。今後も、区民の皆様への禁煙を支援していくとともに、公共の場での分煙の推進や、受動喫煙防止のための取り組みを進めていく。



台東区議会自由民主党・無所属の会

すず き じゅん
鈴木 純

東京スカイツリー開業について

問 東京スカイツリー開業に伴い、各地域で様々なイベントや区主催の事業が計画されているが、隅田川での花火の打ち上げなど、東京都と連携して水辺を利用したイベントも実施すべきではないか。**答** 東京スカイツリー開業台東区記念事業推進委員会を設け、記念事業の検討を進めてきた。今後予定している隅田公園での記念事業においては、東京都とも連携し、水辺の魅力を生かす事業を展開していきたい。**問** 東京スカイツリーへの来場者は年間約3,000万人が見込まれる。少しでも多くの方に本区に足を運んで

もらえるよう、今後どのような誘客方法を考えているのか。**答** これまでも、観光回遊バスの導入などの取り組みを進めてきたが、今後は（仮称）たいとうにぎわいフェスティバルやウォークラリーなどの開業記念事業をはじめ、東京スカイツリー施設内での情報提供や、観光ウェブサイトによるPRなど、本区の多彩な魅力を発信することで誘客につなげていく。

オリンピック及びパラリンピック東京招致について

問 第32回オリンピック及びパラリンピックの東京招致に向けて、本区も積極的に活動すべきではないか。**答** 東京オリンピック等の実現は、明るく活力ある社会の形成に寄与するものである。また、国際観光都市台東区の魅力を世界に向けて発信する絶好の機会であるため、東京都やオリンピック・パラリンピック招致委員会などと連携、協力し、区民の皆様とともに積極的に招致活動を行っていく。



台東区議会区民クラブ

ほん め
本目 さよ

父親の育児参加の促進について

問 ①父親の育児参加促進について、所見を伺う。②父子健康手帳を全出産予定者に配布してはどうか。③ハローベビー学級（両親学級）の土日開催を増やしてはどうか。④父親が参加しやすい講座等を充実してはどうか。⑤父親のネットワークづくりを支援するため、父親向けの連続講座を開催してはどうか。**答** ①次世代育成支援地域行動計画に父親の育児参加の促進を掲げ、各種講座等を実施している。②配布方法等を検討し、利用者の増加に努める。③実

施方法や体制等を検討していく。④⑤父親が子育てに興味を持つきっかけづくりとなるようなイベントや、父親と子どものふれあいや父親の育児参加促進のための連続講座を引き続き開催する等、機会作りをさらに進めていく。

働きやすい企業を増やすための取り組みについて

問 ①子育てしながら働きやすい企業を増やすことについて、所見を伺う。②企業経営者に対しセミナー等を実施してはどうか。③働きやすい企業の認定制度を導入してはどうか。**答** ①台東区男女平等推進行動計画はばたきプラン21の中で、ワーク・ライフ・バランスの推進を施策の一つとして位置づけ、普及啓発に努めている。②業界団体等が主催する研修事業に助成を行い、経営者の意識啓発を支援している。③事業効果や推進方法等の課題があるので、今後研究していく。